

twinkle, twinkle,
little star



久慈高等学校 演劇部

演劇というと、舞台上の「役者の演技」に注目が集まりますが、演出や舞台装置など数多くの「裏方」たちが役者とともに舞台を作り上げています。

久慈高等学校演劇部は、久慈管内では唯一の演劇部。平成26年度にはオリジナル脚本で東北大会出場、平成27年度も県大会出場を果たすなど実績をあげています。

強みは、部員たちが口を揃える「雰囲気良さ」と「団結力」。20人の「個性派ぞろい」なメンバーたちが全国高等学校演劇大会の出場を目指し、日々練習を重ねています。



◀1月にアンバーホールで公演した「さよなら小宮くん」。現在、新歓公演での再演に向けて練習中

役の気持ちの理解からセリフの読みやメリハリ、細かい動きまで、キビしく演技指導が...



◀コミカルなシーンも、動きや間の取り方など細かな調整のためものです



◀台本から受けるイメージは人それぞれ。他のキャストの助言も聞きながら演技を固めていきます



演劇のミリョク

部長



下川原 李音さん(2年)

演劇は、作られた「ウソの世界」のお話です。でも、作り込めば作り込むほど見る人を引き込み心を動かすことができる、そこが魅力だと思います。全力で「他人」に成りきるの、とても楽しいですよ！

久慈 遥人さん(1年)

演出は、舞台を作るまとめ役。台本を読んで感じたことや、伝えたいメッセージなどから、自分なりの劇のイメージを作り、キャストと調整していきます。もちろん「お客さんが見て面白いこと」も常に意識します。

演出



キャスト



高屋敷 真央さん(1年)

普段の自分とは全く違う人を演じる「ギャップ」が面白いです。でも、つい自分が出てしまい「なまってるよ！」とツッコミを受けることも。次の舞台では、男役に初挑戦。役に入り込めるように頑張ります。

水無 寛太さん(1年)

音響は影から舞台を支えるサポート役。舞台本番での音響操作以外に、劇の雰囲気に合わせて曲を探したり、カットして調整するのも仕事です。選んだ曲がキャストと合ったときの達成感は感動物です！

音響



オトナノヤボオ

勢子として闘牛の魅力PR



Name

戸川 宗純さん

とがわ・そうじゅん(小久慈町 30歳)

Profile

一般社団法人久慈市観光物産協会事務局長。平成26年のもみじ場所で勢子デビュー。試合で手綱を取る日も近い？

WORK

久慈商業高校を卒業し、一度東京で運送関係の仕事に就きました。その後久慈に戻ってきて、平成20年に土風館ができた時から観光物産協会の職員として働いています。

仕事は、協会の運営や「道の駅」の管理に加え、販売やふるさと納税を担当しています。各地のイベントに出展して、久慈の観光や物産のPRをするため、市外や県外に出張することも多いです。

LIFE

趣味は海釣り。主にルアー(疑似餌)を使って、磯でアイナメやソイなどを狙っています。良い釣り場を探して、自分の足で稼ぐ釣りのため、釣れた時には達成感があります。

また、一昨年からは平庭闘牛の勢子に挑戦中。特に牛と接点があった訳ではなく「勢子やるべ！」と声をかけられ何もわからずに始めた形でしたが、初めて闘牛場の中から戦う牛を見て、その迫力に圧倒されました。

AMBITION

勢子の役目は、牛を統制して戦いをコントロールすること。闘牛場に入ると、牛のちょっとした動きも見逃せないで非常に緊張しますし、足場も悪いので、かなり大変です。

私はまだ、試合で綱を握ったことはありません。でも、勢子の勉強会で「牛はどう動くのか、どう動きたいのか」を知り、「試合でも綱を握ってみたい」と少しだけ思うようになりました。怖いので、あくまで「少しだけ」ですが。

勢子にとって、預かった牛にケガをさせないことが最優先ですが、その中でお客さんがしっかり楽しめるよう勝負を盛り上げることが大切です。それを実践している先輩たちは、やはり凄いと感じます。

6月には、久慈市で全国闘牛サミットが開催され、全国の闘牛ファンが集まります。私自身も「平庭闘牛はしっかりやってるぞ」というPRの一助になればと思っています。

誘致企業ガイド

盛岡東京電波株式会社 久慈工場

- 代表者 代表取締役社長 菅原 史也
- 所在地 寺里第28地割
- 主要製品 水晶振動子、水晶発振器
- 立地年 平成6年
- 従業員数 約160人

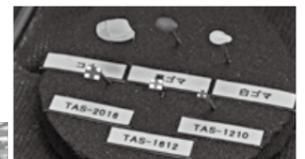
盛岡東京電波の主要製品は水晶振動子や水晶発振器などの水晶応用製品。これらは「クロック信号」という電子回路を動かす基準となる信号を発する部品です。携帯電話やPC、テレビ、デジタルカメラなど、あらゆる電子機器に使われ、その重要性から「産業の塩」とも呼ばれています。

久慈工場では、原料となる人工水晶に切断・研磨などを施し、適正なサイズに加工。クリーンルームで組み立て・調整した後、全数検査を行い出荷しています。最近では、スマートフォンなどに向けた小型かつ高性能な製品の需要が高まっていることから、さらなる小型化にもチャレンジしています。

- ポイント 原料となる人工水晶も東京電波(株)群馬工場で製造しており、全て自社内で完結しているのが強み。水晶振動子を目にする機会はめったにありませんが、携帯電話やスマートフォンなどの電子回路にも組み込まれており、実は皆さんの身近なところでも使われている部品です！



主力の振動子は米粒より小さく長辺2mmほど



組立作業などはクリーンルームで行います

2013年に総合電子部品メーカー村田製作所の子会社となり、現在はムラタグループの一員です。

*市では、地域経済の活性化や雇用の場の確保のために、さまざまな業種の会社が市内に立地してくれるように働きかけています。「誘致企業」は、この働きかけに応じて、市内に事業所などを立地した企業のことです。